骨子案における県庁舎跡地・県警本部跡地の整備・活用イメージ

長崎駅方面

石垣上

この地の歴史を感じつつ、幅広い賑わい や交流を促す広場や空間を整備

敷地中央部に、低層の建物の配置を検討 (1フロア1,000~1,500mの2階建て程度)

具体的機能

- ✓「広場」 カフェやベンチ等を併設
- ✓ 歴史等の「情報発信機能」
- ✓ 「交流支援機能」 多目的交流スペース、研修・講義スペース、 プレゼンスペース等を設置

現存する石垣

石垣下

出島との連携等にも留意し、人々が行き 交う賑わいの空間を整備

隣接するガソリンスタンド敷地を含めた一体 活用を検討

旧県庁立体駐車場付近

- ✓出土した石垣を見せることを検討
- ✓ 本県の魅力を伝える「情報発信機能」

第一別館跡地付近

√ 石垣上と下をつなぐ階段等を整備

第二別館跡地付近

✓ バスペイや待合所を設置

旧第三別館

✓ 利活用ニーズや改修費用等を踏まえ、最終的 な方向性を整理

交流支援機能 (オープンイノベーション等)

交流

旧第三別館

(江戸町公園

バスペイ

待合所

出島方面

周辺部も含め た活用を検討

情報発信機能(歴史等) 交流支援機能

広場

県警本部跡地

周辺エリアの開発との連動にも留意し、 産学官等の連携によるオープンイノベーション 等を推進

民間開発を基本に、周辺部も含めた活用を検討 具体的機能

- ✓ 「交流支援機能」 コワーキングスペース、シェアオフィス、共同研 究スペース、交流サロン等を設置
- ✓ 民間開発を基本に、企業向けオフィス等の整備など を含め検討



広場 (イメージ)

階段等 で接続

現存する石垣

出土した石垣 情報発信機能(魅力等)

隣接地を含む 体活用を検討

賑わい

物産展(イメージ)

交流スペース (イメージ)

シェアオフィス(イメージ)

今後の進め方(想定)

広場などを暫定的に供用し、利用状況等を検証のうえ、その後の整備を検討

今和3年度 4~5年度 6年度以降 利用状況 設計・整備 整地など 等を検証 基本構想 広場等を先行して整備するなど、段階的に整備